

会議記録

附属機関の名称	（仮称）汚泥再生処理センター整備事業審査会
開催日時	令和8年3月30日（月曜） 午後2時から午後2時40分まで
開催場所	熊谷市役所 本庁舎 3階303会議室
出席者	委員長 委員 5名 事務局 3名 関係市職員 1名 アドバイザー事業者 3名 計12名
傍聴人	非公開
問い合わせ先 （所管課）	環境部環境推進課（江南庁舎） Tel 048-536-1570
内容	<p>【議題】 事業概要について</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から（仮称）汚泥再生処理センター整備事業の概要を説明した後、意見交換を行った。主な意見、質問等は次のとおり。 （意見、質問等） （委員）計画処理能力について、令和7年3月に最新の熊谷市人口ビジョン・総合戦略が公表されたが、汚泥再生処理センター整備基本計画はその前に公表されている。最新の推計人口で計画を見直さないのか。 （事務局）最新の推計人口を踏まえ、施設の処理能力を見直した。 （委員）下水放流方式であり、処理後の水は下水道に放流することだが、放流先の能力は十分か。 （事務局）建設地の700m北の下水道幹線に放流する計画であり、下水道課からは処理能力に問題はないとの回答を得ている。 <p>【議題】 事業者選定方法について</p>

<p>内容</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から事業者選定方式は、施設の供用や運営事業が長期間になることから、価格のみの競争ではなく、施設の安全性等も加味することが可能な方式で、かつ同種事業での実績数の多い総合評価一般競争入札方式が適切と説明した後、審議了承を得る。主な意見、質問等は次のとおり。 <p>(意見、質問等)</p> <p>(委員) 事業方式の件数や、事業方式ごとの発注方式の傾向はどのような状況か。</p> <p>(事務局) 今後は総合評価一般競争入札方式が増加すると思われる。また、本事業では施設の仕様を規定することから、総合評価一般競争入札方式が適切と考える。</p> <p>(委員) DBO方式とDB+O方式は異なるのか。</p> <p>(事務局) O(運営)をDB(設計、建設)と同時に発注するか否かの点で異なる。</p> <p>(委員) 現在の施設運営はどのように行っているのか。</p> <p>(事務局) 第一水光園は市職員が直接運営する直営方式、他の2施設は運営を委託している。</p>
-----------	---